

■ オンライン請求管理システムのAWS移行リプレイス (2024 年 5 月 ～参画中)

自主学習で得た AWS の基礎知識を活かし、実務経験を積むために参画。

【担当業務】

AWS と外接拠点および外部サービスをネットワーク接続し、業務アプリ通信が利用する外接ネットワーク基盤を整備すること

①基本設計書作成

要件定義 (定義済) に従い、基本設計書 (外接ネットワーク) を作成。

②外部サービスの導入調整、接続設計、テスト計画作成、ベンダコントロール

決定済みの外部サービス (クラウド WAF、クラウドプロキシ、キャリア閉域接続サービス) の導入調整 (時期、利用機能、パラメータ設定、細部構成等)。導入時のテスト計画を作成、テストを実施して顧客へ報告。

③証明書導入

顧客が利用する証明書の導入

(ドメインの検討・決定、顧客および認証局との調整、CRS 作成、証明書発行手続き)

④要件変更による設計再検討

顧客の設計不備 (IP アドレス重複、AS 番号重複) にり、外接拠点ーAWS 間の接続構成の再検討を実施 (AWS DirectConnect 接続から TransitGW 接続による変更の検討)

⑤AWS リソースの構築

拠点間接続と連携する AWS リソース (DirectConnectGateway、Route53、CloudFront、ALB、ACM 等) の構築 (メイン担当ではない)

⑥ネットワーク接続試験

拠点間接続の接続試験 (試験計画作成、実施、問題発生時の切り分け等)

【所管】

- ・ 閉域接続+Direct Connect の導入経験を積めたのは大きな成果。
- ・ WAF やProxy などのインターネットサービス導入経験も貴重。
- ・ IAM (ポリシー、ロール、スイッチロール) の基本的な設計について実践的に理解できた。
- ・ ネットワークと親和性の高いAWS サービス (Route53、CloudFront、ALB) は比較的理解しやすかったが、Code シリーズは学習に苦労した (Git やコンテナに関する基礎知識の必要性を実感)
- ・ 一定以上の規模では手動構築が非効率であり、IaC ツールの有用性を痛感
(今回使用した独自 IaC ツールは使い勝手が悪く、Terraform の方が現場の評価は高かった。)